

金城 ヨシヒデだより



名護市議会議員 金城善英 議会報告



ごあいさつ

ようやくコロナ禍から、日常へと落ち着きつつあります。皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

ロシアによるウクライナ侵略から1年が過ぎ、いまだに終結への道筋が見えない中、世界経済への影響は深刻な状況が続いています。また、世界的な物価高騰による市民生活に与える影響も厳しさを増しています。

政府は、総合経済対策を策定

し、電気・ガス・プロパンガス・ガソリン価格などの負担軽減策を実施していくが、加速度的に更なる対策を講じて頂きたいものです。

さて、名護市3月定例会においては、渡具知市長による令和5年度の施政方針が示され、一般会計予算ほか多くの議案が賛成多数で可決されました。迅速

かつ適切、円滑な予算執行を見守つて参りました。皆様の益々のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。



議会報告



金城善英 HP

第210回名護市定例会(3月定例会)は、

令和5年3月1日から3月27日までの会期で行われました。令和5年度の施政方針が示され、名護市一般会計予算(当初)を含む、

市長提出議案16件、報告1件、請願1件、陳情3件は各常任委員会へ付託されました。

追加議案として、市長提出議案6件、議員提出議案1件、意見書案1件、決議案1件が審議されました。審査の結果につきましては名護市議会ホームページが「なご市議会だより」第141号(6月初め配布)の議案処理結果一覧をご覧ください。

3月定例会一般質問から要旨

ここでは、今定例会でのヨシヒデの一般質問の要旨をご報告いたします。

一、名護湾沿岸のまちづくりについて

質問(1) 「21世紀の森公園周辺エリア」のマ

ケット・サウンディング調査結果について

答弁 令和4年12月に公募したところ。県内事業者8社、県外5社、計13社からの応募

があり、1月に個別対話を行った。事前に提

案頂いた「21世紀の森公園のポテンシャル」、「本事業に対する参入の意向」「民間事業者が考える事業範囲や具体的な事業内容」、事業を実施するうえでの「イニシャルコスト」や、「ランニングコスト」などについて意見交換を行い、翌年1月以降の整備、供用開始を想定した。今後は、4月から6月にかけて公募資料を作成、7月から11月の期間に事業者の公募及び選定、12月に選定事業者との協定締結を行なう。

質問(2) 「名護漁港周辺エリア」の国道58号移設に係る関係機関との調整の進捗状況について

答弁 「内閣府沖縄総合事務局北部国道事務所」と、勉強会や意見交換を重ねており、令和3年度に策定した、「実施計画」で示している「バスタ・プロジェクト」等による当該施設の整備の可能性についても調整を行っている。今後、地元関係者や各関係機関などと合意形成や協力体制を構築し実現へ向け取組む

二、脱炭素社会の実現に向けて

質問(1) 名護市と沖縄電力株式会社との包括連携に関する協定の進捗状況について

答弁 包括協定に基づき脱炭素の推進及び持続可能なまちづくりの実現をめざし、公共施設へ

の太陽光発電設備の導入を行っている。現在、みらい2号館において、太陽光パネルの設置工事を行っており、6月頃の完成を予定。また、名護小学校と北部生涯学習推進センターについては引き続き沖縄電力と調整を行っている。名護小学校と北部生涯学習推進センターの中には、再生可能エネルギー導入はあるのか。

質問(2) 公立沖縄北部医療センターの整備計画の中には、再生可能エネルギー導入はあるのか。

答弁 令和4年3月策定の基本計画において、「運用時の維持管理費の負担を考慮した上で、省エネ、再生可能エネルギー等の導入や環境に配慮した施設建築」が示されており、どのような方法で行うのかを含め総合的な検討を行っている最中であると伺っている

(1面からつづく) 三、女性デジタル人材の育成について

質問(1) 経済面などで厳しい状況にある女性の方々が、デジタルスキルを身につけて、より安定した収入が得られ、柔軟に働くことができる女性デジタル人材の育成について

答弁 女性の経済自立を目的とし、就労に直結する女性デジタル人材の確保と最低賃金の1・5倍以上の仕事に就く女性の数を増やすことを目的としている。本市のテレワーカー人材育成事業のアンケート結果等を精査した上で、どのような人材育成事業が必要なのか検討したい

四、交通安全対策について

質問(1) 新名護博物館周辺の安全対策に伴う横断歩道の設置について

答弁 今年(令和5年)5月2日からのグランドオープニング後の新博物館の利用者状況等を含め、博物館からの聞き取りを行い、新たな横断歩道設置の検討を関係機関と調整していく

五、教育行政について

質問(1) 平成31年3月第194回定例会でも取り上げましたが、大中区の旧崎山図書館の現況と今後について

答弁 今後の跡地利用に関して、現在決定しているものはない。しばらくは施設を利用する予定の方々からの公園整備を望む声について

答弁 崎山氏により人材育成のために寄付されたことや、地域住民からの公園設置の要望等を踏まえ、公共用地の跡地利用計画のプロセスを準拠し決していく

質問(3) 学校給食施設整備事業の取組について
答弁 現在、敷地造成を令和5年11月24日までを工期とし、造成工事完了後、引き続き建築

六、名護市LINE公式アカウントについて

質問(1) 道路、道路灯、河川、公園における損傷個所や不具合などの通報機能を名護市LINE公式アカウントの地域課題レポートに加えることについて

答弁 市民と市による協働のまちづくりに資するものと考えている。地域課題レポートへの「道路損傷等」の機能は、業務フローの見直しなど体制が整い次第、追加したい

七、屋我地地域の海洋ごみ、漂着ごみの処分の在り方について

質問(1) 海浜清掃から出る様々なごみの処分について、どこに相談したら解決できるのか。

答弁 ボランティア清掃の調整時に説明した内容に従い、本市で処理できるごみについては環境対策課へご相談いただき、それ以外のごみについては当該海岸を管理している沖縄県や本市の担当部署にご相談をいただきたい

質問(2) 最終処分までの流れについて
答弁 海岸管理者での処分に関して、リサイクル家電については、管理者において家電リサイクル券を購入し、指定する引取所へ搬入する。その他、タイヤやバッテリー、漁具については、管理者において回収し処理業者にて処理する

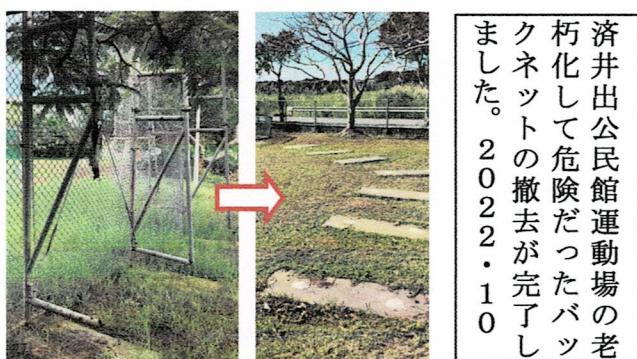
八、多世代交流施設整備事業について

多世代交流施設整備基本計画の目的に「子ども家庭総合支援拠点機能、児童センター機能、他の子育て関連支援機能の複合化を図り、ユニバ

工事に着手し、令和6年度の事業完了に向けて取組む。供用開始については、令和7年度中を予定

一サルデザインの考えに基づく複合施設として「抜粋」とあります。そこで、「一機能」を加えることについて

質問(2) ワンストップ相談体制について
質問(3) 医療的ケア児支援の充実・強化について
質問(4) 医療的ケア児の放課後デイサービスについて



濟井出公民館運動場の老朽化して危険だったバッケネットの撤去が完了しました。2022.10

やさしく、深く、面白く、役に立つ
政治を毎日わかりやすくお伝えする
公明新聞を読んでみませんか？

日刊(1ヶ月 1,887円/税込)

激しく移り変わる社会・政治の動きを正確な報道で伝えてまいります。

お申し込みは 金城ヨシヒデ 0980-54-1259

質問(1) 基本計画の目的に「児童発達支援センター機能」を加えることについて
質問(2) ワンストップ相談体制について
質問(3) 医療的ケア児支援の充実・強化について
質問(4) 医療的ケア児の放課後デイサービスについて
質問(1) から(4) 一括で答弁。高齢者から子育て世代、児童生徒等が、気軽に利用できる交流拠点施設を整備する基本計画であり、相談の最初の入り口となり、相談後、行政サービス等を提供する本庁などの関係部署につなぐ役割を担う施設となることを想定している。「児童発達支援センター」や「医療的ケア児支援」等、個別の対応が必要なケースについては、関係各課との連携を図りながら適切な支援についていく。「児童発達支援センター機能」等については、今後必要に応じ検討する